

平成21年3月期 第2四半期決算短信

平成20年11月5日

上場会社名 理想科学工業株式会社

上場取引所 東 JQ

コード番号 6413 URL http://www.riso.co.jp/

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 羽山 明

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役

(氏名) 河合 伸雄

TEL 03-5441-6611

四半期報告書提出予定日 平成20年11月13日

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第2四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第2四半期	42,627		689		883		192	
20年3月期第2四半期	43,535	2.2	2,279	0.0	2,358	4.8	1,321	2.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第2四半期	7.38	
20年3月期第2四半期	49.93	48.01

(注)20年3月期第2四半期 営業利益の対前年同四半期増減率は本来 0.0%ですが、TNetの仕様上0にマイナスの符号が付けられない為、0.0%と記載しております。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
21年3月期第2四半期	113,536		68,173	59.9			2,605.41	
20年3月期	114,795		69,796	60.7			2,650.67	

(参考) 自己資本 21年3月期第2四半期 67,992百万円 20年3月期 69,630百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期		0.00		40.00	40.00
21年3月期		0.00			
21年3月期(予想)				40.00	40.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	89,400	3.5	1,360	74.8	3,110	34.0	1,500	9.5	57.40

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、5ページ[定性的情報・財務諸表等] 4.その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの
会計基準等の改正に伴う変更 有
以外の変更 無

(注) 詳細は、5ページ[定性的情報・財務諸表等] 4.その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第2四半期	26,643,166株	20年3月期	28,053,166株
期末自己株式数	21年3月期第2四半期	546,626株	20年3月期	1,784,156株
期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年3月期第2四半期	26,133,189株	20年3月期第2四半期	26,465,461株

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 通期の連結業績予想は、平成20年10月31日発表のとおり修正しております。

2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

3. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の運用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(参考)平成21年3月期第2四半期の連結業績(平成20年7月1日~平成20年9月30日)

(百万円未満切捨て)

(1) 連結経営成績(3ヶ月)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第2四半期	20,585		240		575		688	
20年3月期第2四半期								

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第2四半期	26.39	
20年3月期第2四半期		

(注)当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の運用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。従いまして、20年3月期第2四半期会計期間(3ヶ月)の業績及び対前年同四半期増減率は記載しておらず、同四半期会計期間に係る連結損益計算書につきましても開示しておりません。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、原材料高騰の影響や欧米向け輸出の減少、円高の進行等により設備投資に慎重姿勢が強まり景気は弱含みの展開となりました。一方海外に目を向けますと、米国経済は、雇用情勢の悪化、個人消費の低迷、住宅市場の調整等幅広い分野で景気の後退傾向が一段と強まりました。欧州経済は、物価上昇に伴う消費低迷や雇用情勢の悪化を背景に景気は減速傾向となりました。アジア経済は、雇用、所得の拡大などに支えられ底堅い成長が続いているものの、先進国の景気停滞の影響を受け景気の先行きに不透明感が出てまいりました。

このような経済状況のもと当社グループは、印刷機器関連事業における新規顧客の獲得を重要課題に掲げて活動してまいりました。当連結会計期間は、「次世代を見据えた商品開発の遂行」「インクジェット事業における収益基盤の構築」「孔版事業における収益の確保」「海外販売子会社の活性化と体質転換」の4項目を重点課題として運営しております。

当第2四半期連結累計期間は、デジタル印刷機及び高速カラープリンターの本体設置台数の増加を図るべく販売活動に注力いたしました。高速カラープリンターは国内、海外ともに販売を伸ばしておりますが、デジタル印刷機においては販売が減少傾向にあります。このような中、前年同期に比べ円高の影響もあり、売上高は426億2千7百万円（前年同期比2.1%減）、営業利益はデジタル印刷機の売上総利益の減少と販売管理費の増加により6億8千9百万円（同69.8%減）、経常利益は8億8千3百万円（同62.5%減）、四半期純利益は1億9千2百万円（同85.4%減）となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間の米ドル及びユーロの期中平均為替レートはそれぞれ106.11円（同13.22円の円高）、162.68円（同0.38円の円安）となり、為替の影響を差引いた売上高は前年同期に比べ1.8%の増収となります。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりです。

印刷機器関連事業

当社グループは、印刷機器関連事業として主にインクジェット事業（高速カラープリンター）と孔版事業（デジタル印刷機）を行っております。高速カラープリンターの販売では、プリント速度と低ランニングコストの特性を活かし着実に売上を伸ばすことができました。一方、デジタル印刷機の販売では、アジア・中国では売上を伸ばしたものの、先進国では売上が減少し前年を下回りました。

この結果、印刷機器関連事業の売上高は420億6千8百万円（同2.1%減）、営業利益は2億5千1百万円（同86.4%減）となりました。

不動産その他事業

当社グループは、不動産その他事業として表参道ビル・新大阪ビルの賃貸を中心とした不動産事業と保険代理業を行っております。

不動産事業、保険代理業ともに計画どおり推移し、不動産その他事業の売上高は5億5千9百万円（同0.6%増）、営業利益は4億3千8百万円（同0.6%増）となりました。

所在地別セグメントの業績は次のとおりです。

日本（国内及びアジア代理店向販売）

国内では、高速カラープリンターは順調に売上を伸ばし、デジタル印刷機の売上はアジア代理店向販売も含めほぼ前年並みに推移しました。この結果、売上高は不動産その他事業も含め238億9千7百万円（同1.9%増）となりました。営業利益は円高の影響と販売管理費の増加により8億9百万円（同63.5%減）となりました。

米州（米州子会社）

米州では、高速カラープリンターの売上を伸ばし、その増加分でデジタル印刷機の売上減少分をカバーしました。売上高は円高の影響を受け55億1千5百万円（同11.3%減）となり、デジタル印刷機の売上減少に伴い売上総利益が減少したため営業損失は3億6千6百万円（前年同期は2億7千8百万円の営業損失）となりました。

欧州（欧州子会社）

欧州では、高速カラープリンターは前年より売上を伸ばしましたが、デジタル印刷機の売上の減少分をカバーできませんでした。この結果、円高の影響も受け、売上高は90億8千3百万円（前年同期比5.9%減）となり、デジタル印刷機の売上減少に伴い売上総利益が減少したこと、販売管理費の増加により営業損失が4億7千9百万円（前年同期は1億6千5百万円の営業利益）となりました。

アジア（アジア・中国子会社）

アジアでは、タイ、インド、中国などを中心にデジタル印刷機の売上を伸ばしましたが、為替の影響を受け、売上高は41億3千1百万円（前年同期比1.7%減）、営業利益は3億1千1百万円（同17.8%減）となりました。

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。従いまして、当第2四半期連結累計期間の連結損益計算書と前年同期の連結損益計算書とは作成基準が異なるため、前年同期比較に関する情報は参考として記載しております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末に比べ以下のとおりとなりました。

資産合計は12億5千8百万円減少し1,135億3千6百万円となりました。また純資産合計は16億2千2百万円減少し681億7千3百万円となりました。この結果自己資本比率は0.8ポイント減少し59.9%となりました。

主な増減内容は、資産の部では、現金及び預金が21億3百万円の増加、商品及び製品が11億9千万円の増加、受取手形及び売掛金が28億2千万円の減少、有価証券が23億6千1百万円減少しております。また負債の部では、短期借入金が1億5千5百万円の増加、支払手形及び買掛金が2億9千4百万円の減少、未払法人税等が2億2千4百万円減少しております。

(キャッシュ・フローの状況)

営業活動の結果獲得した資金は17億5千6百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益8億8千3百万円、減価償却費12億9千1百万円、売上債権の減少額30億6千2百万円、たな卸資産の増加額14億7千3百万円、未払金の減少額5億9千8百万円、法人税等の支払額8億1千8百万円によるものです。

投資活動の結果支出した資金は8億5百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出5億7千5百万円、無形固定資産の取得による支出4億9千2百万円、定期預金の払戻による収入2億5千6百万円によるものです。

財務活動の結果支出した資金は11億8千2百万円となりました。これは主に、短期借入金の純増額1億1千1百万円、自己株式の取得による支出2億4千4百万円、配当金の支払額10億4千7百万円によるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

(1) 通期連結業績予想の修正

平成20年5月9日に発表した平成21年3月期(平成20年4月1日～平成21年3月31日)の連結業績予想につきまして以下のとおり修正いたしました。

通期の連結業績予想

(金額の単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回予想(A)	93,500	3,600	5,430	3,560	135.52円
今回修正(B)	89,400	1,360	3,110	1,500	57.40円
増減額(B-A)	4,100	2,240	2,320	2,060	-
増減率(%)	4.4	62.2	42.7	57.9	-
(ご参考) 前期実績(平成20年3月)	92,621	5,397	4,709	1,657	62.73円

修正の理由

売上高につきましては、引き続き欧州は低調に推移することが予想され、その他地域においても現状の市場環境を考慮した結果、前回予想を下回る見込みです。

利益につきましては、孔版事業における売上高の減少が見込まれる為、営業利益、経常利益、当期純利益が前回予想を下回る見込みです。

(2) 中期経営計画の見通しに関する情報

当社グループは、平成22年3月期において連結売上高1,000億円、連結売上高営業利益率10%をめざす第三次中期経営計画(Riso Vision 10)を策定し、当社グループの主たる事業である印刷機器関連事業における新規顧客の獲得を重点課題として取り組んでおります。しかしながら、孔版事業の減収、為替相場における円高の進行が予想以上に進んだことなどにより、これらの目標の達成については現段階におきまして困難な見通しとなっております。今後も引き続き同中期経営計画の重点課題に取り組んでまいります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

「四半期財務諸表に関する会計基準」の適用

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

たな卸資産の評価基準及び評価方法の変更

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として移動平均法による原価法によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、主として移動平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価の切下げの方法）により算定しております。

この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べて、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ43百万円減少しております。

「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

当第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第18号 平成18年5月17日）を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。

この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べて、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ26百万円増加しております。

また、期首の利益剰余金から131百万円を減算したことに伴い、利益剰余金が同額減少しております。

5 . 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位 : 百万円)

	当第 2 四半期連結会計期間末 (平成20年 9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年 3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	27,016	24,913
受取手形及び売掛金	13,327	16,147
有価証券	9,912	12,273
商品及び製品	12,236	11,045
仕掛品	605	571
原材料及び貯蔵品	1,407	1,360
繰延税金資産	2,583	2,670
その他	1,712	1,709
貸倒引当金	256	311
流動資産合計	68,546	70,381
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	18,590	18,538
減価償却累計額	11,094	10,862
建物及び構築物 (純額)	7,496	7,676
機械装置及び運搬具	8,068	7,902
減価償却累計額	6,525	6,247
機械装置及び運搬具 (純額)	1,543	1,655
工具、器具及び備品	16,178	16,662
減価償却累計額	14,304	15,164
工具、器具及び備品 (純額)	1,873	1,497
土地	18,053	18,053
建設仮勘定	100	24
その他	12,627	12,613
減価償却累計額	8,496	8,505
その他 (純額)	4,131	4,107
有形固定資産合計	33,198	33,014
無形固定資産		
ソフトウェア	1,808	1,807
のれん	-	137
その他	448	363
無形固定資産合計	2,256	2,309
投資その他の資産		
投資有価証券	2,054	2,279
長期貸付金	281	299
繰延税金資産	1,249	1,217
その他	6,254	5,559
貸倒引当金	305	265
投資その他の資産合計	9,535	9,089
固定資産合計	44,989	44,413
資産合計	113,536	114,795

(単位：百万円)

当第2四半期連結会計期間末
(平成20年9月30日)前連結会計年度末に係る
要約連結貸借対照表
(平成20年3月31日)

負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,910	14,205
短期借入金	5,545	5,389
1年内返済予定の長期借入金	9	9
1年内償還予定の転換社債	13,286	13,286
未払法人税等	718	942
賞与引当金	1,573	1,559
役員賞与引当金	12	28
製品保証引当金	135	125
その他	5,409	5,925
流動負債合計	40,601	41,472
固定負債		
長期借入金	97	98
退職給付引当金	2,851	2,785
役員退職慰労引当金	249	229
持分法適用に伴う負債	57	226
その他	1,506	185
固定負債合計	4,761	3,526
負債合計	45,362	44,998
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,114	14,114
資本剰余金	14,779	14,779
利益剰余金	39,651	43,131
自己株式	965	3,210
株主資本合計	67,580	68,815
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	617	831
為替換算調整勘定	205	16
評価・換算差額等合計	411	815
少数株主持分	181	165
純資産合計	68,173	69,796
負債純資産合計	113,536	114,795

(2) 四半期連結損益計算書
(第 2 四半期連結累計期間)

(単位 : 百万円)

	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成20年 4 月 1 日 至 平成20年 9 月30日)
売上高	42,627
売上原価	21,434
売上総利益	21,193
販売費及び一般管理費	20,504
営業利益	689
営業外収益	
受取利息	160
受取配当金	23
持分法による投資利益	159
その他	260
営業外収益合計	605
営業外費用	
支払利息	242
為替差損	88
その他	79
営業外費用合計	410
経常利益	883
税金等調整前四半期純利益	883
法人税等	672
少数株主利益	18
四半期純利益	192

(第2四半期連結会計期間)

(単位:百万円)

当第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	
売上高	20,585
売上原価	10,497
売上総利益	10,087
販売費及び一般管理費	10,328
営業損失()	240
営業外収益	
受取利息	80
受取配当金	4
その他	73
営業外収益合計	157
営業外費用	
支払利息	124
持分法による投資損失	80
為替差損	234
その他	51
営業外費用合計	492
経常損失()	575
税金等調整前四半期純損失()	575
法人税等	106
少数株主利益	7
四半期純損失()	688

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

当第2四半期連結累計期間
 (自 平成20年4月1日
 至 平成20年9月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	883
減価償却費	1,291
持分法による投資損益(は益)	159
退職給付引当金の増減額(は減少)	65
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	19
役員賞与引当金の増減額(は減少)	15
貸倒引当金の増減額(は減少)	9
受取利息及び受取配当金	184
支払利息	242
為替差損益(は益)	5
売上債権の増減額(は増加)	3,062
たな卸資産の増減額(は増加)	1,473
仕入債務の増減額(は減少)	207
未払金の増減額(は減少)	598
その他	291
小計	2,630
利息及び配当金の受取額	186
利息の支払額	242
法人税等の支払額	818
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,756
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	1
定期預金の払戻による収入	256
有形固定資産の取得による支出	575
無形固定資産の取得による支出	492
投資有価証券の売却による収入	2
貸付けによる支出	15
貸付金の回収による収入	37
その他	17
投資活動によるキャッシュ・フロー	805
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(は減少)	111
長期借入れによる収入	4
長期借入金の返済による支出	5
自己株式の取得による支出	244
配当金の支払額	1,047
その他	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,182
現金及び現金同等物に係る換算差額	47
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	279
現金及び現金同等物の期首残高	30,427
現金及び現金同等物の四半期末残高	30,148

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）セグメント情報

a．事業の種類別セグメント情報

当第２四半期連結会計期間（自平成20年7月1日 至平成20年9月30日）

	印刷機器関連事業 （百万円）	不動産その他事業 （百万円）	計 （百万円）	消去 （百万円）	連結 （百万円）
売上高					
（１）外部顧客に対する売上高	20,306	279	20,585	-	20,585
（２）セグメント間の内部売上高	-	19	19	(19)	-
計	20,306	298	20,604	(19)	20,585
営業利益又は営業損失（ ）	457	217	240	-	240

当第２四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）

	印刷機器関連事業 （百万円）	不動産その他事業 （百万円）	計 （百万円）	消去 （百万円）	連結 （百万円）
売上高					
（１）外部顧客に対する売上高	42,068	559	42,627	-	42,627
（２）セグメント間の内部売上高	-	41	41	(41)	-
計	42,068	600	42,668	(41)	42,627
営業利益	251	438	689	-	689

b. 所在地別セグメント情報

当第2四半期連結会計期間（自平成20年7月1日 至平成20年9月30日）

	日本 (百万円)	米州 (百万円)	欧州 (百万円)	アジア (百万円)	計 (百万円)	消去 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	11,871	2,963	3,668	2,081	20,585	-	20,585
(2) セグメント間の内部売上高	6,334	0	122	1,995	8,452	(8,452)	-
計	18,205	2,964	3,791	4,077	29,038	(8,452)	20,585
営業利益又は営業損失()	195	114	527	140	305	65	240

当第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）

	日本 (百万円)	米州 (百万円)	欧州 (百万円)	アジア (百万円)	計 (百万円)	消去 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	23,897	5,515	9,083	4,131	42,627	-	42,627
(2) セグメント間の内部売上高	11,955	0	242	3,843	16,042	(16,042)	-
計	35,853	5,515	9,326	7,974	58,670	(16,042)	42,627
営業利益又は営業損失()	809	366	479	311	275	414	689

c. 海外売上高

当第2四半期連結会計期間（自平成20年7月1日 至平成20年9月30日）

	米州	欧州	アジア	計
海外売上高(百万円)	2,963	3,716	2,697	9,377
連結売上高(百万円)	-	-	-	20,585
連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	14.4	18.1	13.1	45.6

当第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）

	米州	欧州	アジア	計
海外売上高(百万円)	5,515	9,182	5,226	19,924
連結売上高(百万円)	-	-	-	42,627
連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	12.9	21.5	12.3	46.7

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成20年7月1日付で、自己株式の消却を行いました。この結果、当第2四半期連結会計期間において資本剰余金が0百万円、利益剰余金が2,490百万円及び自己株式が2,490百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末において資本剰余金が14,779百万円、利益剰余金が39,651百万円及び自己株式が965百万円となっております。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表

(1) 中間連結損益計算書

区分	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)	
	金額(百万円)	百分比 (%)
売上高		43,535 100.0
売上原価		20,954 48.1
売上総利益		22,580 51.9
販売費及び一般管理費		20,300 46.6
営業利益		2,279 5.3
営業外収益		
1. 受取利息	140	
2. 受取配当金	22	
3. 持分法による投資利益	29	
4. 受取保険返戻金	63	
5. その他	192	448 1.0
営業外費用		
1. 支払利息	299	
2. 為替差損	3	
3. 固定資産除却損	38	
4. その他	27	369 0.9
経常利益		2,358 5.4
税金等調整前中間純利益		2,358 5.4
法人税、住民税及び事業税	1,046	
法人税等調整額	22	1,024 2.4
少数株主利益		12 0.0
中間純利益		1,321 3.0

(2) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

	前中間連結会計期間 (自 平成19年 4月 1日 至 平成19年 9月30日)
区分	金額(百万円)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前中間純利益	2,358
減価償却費	1,351
のれん償却額	25
持分法による投資損失(投資利益:)	29
退職給付引当金の増加額(減少額:)	119
役員退職慰労引当金の増加額(減少額:)	80
役員賞与引当金の増加額(減少額:)	34
貸倒引当金の増加額(減少額:)	23
受取利息及び受取配当金	162
支払利息	299
為替差損(差益:)	50
売上債権の減少額(増加額:)	3,100
たな卸資産の減少額(増加額:)	1,052
仕入債務の増加額(減少額:)	698
未払金の増加額(減少額:)	446
その他	270
小計	4,165
利息及び配当金の受取額	156
利息の支払額	300
法人税等の支払額	1,415
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,606

	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)
区分	金額(百万円)
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	1,727
定期預金の払出による収入	0
有価証券の売却による収入	3,995
有形固定資産の取得による支出	993
無形固定資産の取得による支出	315
投資有価証券の取得による支出	3,003
貸付金の貸付けによる支出	123
貸付金の回収による収入	48
その他	27
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,092
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れの純増加額(純減少額:)	630
長期借入れによる収入	24
長期借入金の返済による支出	17
社債の償還による支出	816
配当金の支払額	1,057
その他	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,498
現金及び現金同等物に係る換算差額	76
現金及び現金同等物の増加額(減少額:)	1,907
現金及び現金同等物の期首残高	32,667
現金及び現金同等物の中間期末残高	30,759

(3) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

前中間連結会計期間(自平成19年4月1日 至平成19年9月30日)

	印刷機器関連事業 (百万円)	不動産その他事業 (百万円)	計 (百万円)	消去 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	42,979	556	43,535	-	43,535
(2) セグメント間の内部売上高	-	37	37	(37)	-
計	42,979	594	43,573	(37)	43,535
営業利益	1,844	435	2,279	-	2,279

b. 所在地別セグメント情報

前中間連結会計期間(自平成19年4月1日 至平成19年9月30日)

	日本 (百万円)	米州 (百万円)	欧州 (百万円)	アジア (百万円)	計 (百万円)	消去 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	23,455	6,218	9,656	4,203	43,535	-	43,535
(2) セグメント間の内部売上高	12,007	5	278	4,822	17,114	(17,114)	-
計	35,463	6,224	9,935	9,026	60,649	(17,114)	43,535
営業利益又は営業損失()	2,215	278	165	379	2,481	(201)	2,279

c. 海外売上高

前中間連結会計期間(自平成19年4月1日 至平成19年9月30日)

	米州	欧州	アジア	計
海外売上高(百万円)	6,218	9,821	5,376	21,416
連結売上高(百万円)	-	-	-	43,535
連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	14.3	22.6	12.3	49.2